

HTK 通信

通巻 1711 号(1989 年 4 月 6 日第 3 種郵便物承認)
 2023 年 9 月 11 日 NO. 472 毎月 1、11、21、25、28 発行
 発行 広島聴覚障害者定期刊行物協会
 編集 特定非営利活動法人広島県手話通訳問題研究会
 〒732-0052 広島市東区光町 1-11-5-508
 電話(082)568-6770 FAX(082)568-6771
 HP <http://hirotsuken.com/>
 e-mail hirotsu-ken@nifty.com

2023年9月の通信

P1	NHKに手話通訳がついたこと・手話通訳フォーラム2023
P2	平和と手話通訳を考えるつどい
P3	手話で語り継ぐ被爆体験伝承者の会
P4	医療班からこんにちは
P5-6	サマーフォーラムinとくしま
P7-10	手話通訳フォーラム
P11	本棚「手話通訳の面白さ・難しさ」
P12-13	アイラブからこんにちは
P13	西部ブロック学習会感想・書籍販売紹介
P14	e~会報
P15	ZOOMでビデオを見る会・ビデオ学習会・北部研修
P16	カレンダー9月号

広島平和祈念式典テレビ放送に 初めて手話通訳が挿入されました

広通研伝承班から声が上がリ、一般社団法人広島市ろうあ協会と共に検討し、今年1月、次の2点を広島市に要望しました。(要望書は本誌2023年2月号に掲載)

1. 聴覚に障害のある参列者が手話通訳者とステージを同時に見ることができるよう、ステージ上またはそれを可能とする位置に手話通訳をおくこと。
2. テレビ中継に手話通訳者を挿入するようにメディア各社に働きかけること。

広島市はこの要望に心え、障害者席前に配置した手話通訳者の横にディスプレイを置いてくださうたことで、ステージ映像と手話通訳が同時に見られるようになりました。また、NHK放送局に対し、番組映像に手話通訳を挿入するように働きかけてくださり、NHKはそれに応え手話通訳者をワイプで挿入してくださいました。要望を受け入れていただいた広島市には、文書によりお礼の言

葉を伝えました。NHK放送局にもこの場を借りて感謝申し上げます。

きこえない・きこえにくい人々の「知る権利」が妨げられない「手話言語による情報保障が当たり前の社会」の実現に向け、とても素晴らしい進展だったと思います。しかし、これは第一歩を踏み出したに過ぎません。待っているだけではなく、声を上げることで実現に近づくことを感じています。今回、テレビを見た広通研会員やろう者からも、喜びの声だけでなく更なる改善を求める声が届いています。

そこで、お願いがあります。式典に参列した方、テレビ放送を視聴した方、このニュースを知り感じたことがある方等、是非、みなさんのご感想やご意見を広通研までお寄せください。広通研は、来年の式典での手話言語による情報保障が、より改善されたものになるように取り組み続けたいです。一緒にがんばっていきましょう。

手話通訳フォーラム2023

コロナ禍の中、会場集合とオンラインで開催していた手話通訳フォーラムでしたが、今年は久しぶりに、会場集合という形で開催します。是非、お友達を誘って福山へお越しください。

以前テレビドラマで、聴覚障がい者役を聞こえる女優が演じていました。それがきっかけで手話を学ぼうという人が増え、地域の手話講習会では受講生が多く集まった時期がありました。今は、聴覚に障がいのある映画監督やドラマの主人公もいろいろな場で見られるようになりました。

今回の手話通訳フォーラムは、五十嵐由美子さんに「心を伝える大切さ」演劇を通して」というテーマで記念講演をお願いしています。ドラマ「星降る夜に」での名演技を覚えていらつしやるかたも多いのではないかと思います。どのようなお話をしていただけるのかとても楽しみです。

午後からは、「手話ボエム」を皆さん楽しんでみませんか？実行委員が今準備をしています。どんなテーマが皆さんのグループに届くでしょうか？いろいろな地域から集まった仲間と一緒に考え笑い合ってみましょう。詳しくは今月号に入っている「手話通訳フォーラム2023」の参加申込案内をご覧ください。そして早めに申し込みをお願いします。

